



鐘踊り

新宮町上山字西之庄稻茎神社の境内社
大西神社は、戦国武将の大西備中守元武
を祀っている。

元武は踊り好きであったとも伝えられ、
日照りが続けば雨乞踊り、豊作には豊作
踊りを奨励し、自らもまた踊りを楽しんだという。

諸説あるが、後世、大西家の子孫が、元禄年間
(1680年代) 念仏踊りとして追善供養のため始め
られたのが鐘踊りであると言われている。それから
300 有余年、旧暦 8 月 1 日(八朔)に奉納されて
いたが、現在は 8 月の最後日曜日に執り行われ
ている。

踊りの構成は、太鼓 2 人、鉦 10 人(大関 1 人、
小関 1 人、関脇 2 人、ふくろ 6 人)、なぎなた 4 人
(少女)、はつり 4 人(少年)、面 1 人(猿田彦)、
棒振り 1 人の総勢 22 名からなる。

昭和 43 年には、愛媛県無形民俗文化財に指定さ
れている。



平成 29 年第 3 回定例会は、去る 9 月 5 日から 22
日までの 18 日間の会期で開かれました。

今定例会には、平成 29 年度一般会計補正予算を初
めとする市長提出議案 15 件、認定 2 件、意見書 2 件、
陳情 1 件が上程されました。

主な内容

- ① 賛否の状況等 ……P35 ～ P34
- ② 一般質問 ……P33 ～ P31
- ③ 委員会の審査概要 ……P30 ～ P28
- ④ 知ってフォーラム開催決定 ……P27

— 想い伝えるお手伝い。—

おかげさまで 20 周年

20th
Anniversary

株式会社 ヨンパ

〒790-0431 豊川町 2582 TEL 0896-25-2426 FAX 0896-25-2570

アンティーク
TRÉSOR
ANTIQUE

愛媛県四国中央市菅根町 5009-55
TEL.(0896)28-7890
営業時間 10:00～19:00

アイフルホーム 川之江店(カジワラホーム兼)

四国中央市、施工実績 NO.1 の家づくり

人生を豊かに変える
ミライリッチの家づくり

▼ 詳しくは Web へ
スマホ対応しています

カジワラホーム株式会社 検索

愛媛県四国中央市妻鳥町 1210-1 TEL.0896-56-7701

平成 29 年 第 3 回 四国中央市議会定例会 議決結果一覧

番 号	件 名	議決結果
議案第 69 号	四国中央市住宅マスタープラン委員会条例の制定について	原案可決
議案第 70 号	四国中央市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 71 号	四国中央市旅客自動車条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 72 号	四国中央市保健センター条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 73 号	平成 29 年度四国中央市一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 74 号	平成 29 年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 75 号	平成 29 年度四国中央市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 76 号	平成 29 年度四国中央市寒川東部臨海土地造成事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 77 号	平成 29 年度四国中央市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 78 号	平成 28 年度四国中央市水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案第 79 号	平成 28 年度四国中央市簡易水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案第 80 号	平成 28 年度四国中央市工業用水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案第 81 号	東部学校給食センター新築工事（建築）請負契約の締結について	原案可決
議案第 82 号	東部学校給食センター新築工事（電気）請負契約の締結について	原案可決
議案第 83 号	物品購入契約の締結について	原案可決
認定第 1 号	平成 28 年度四国中央市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第 2 号	平成 28 年度四国中央市水道事業会計決算、平成 28 年度四国中央市簡易水道事業会計決算及び平成 28 年度四国中央市工業用水道事業会計決算の認定について	継続審査
意見書第 2 号	「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」における補助率等の嵩上げ措置の継続に関する意見書について	原案可決
意見書第 3 号	北朝鮮のミサイル発射及び核実験実施に対する意見書について	原案可決
29 年 陳情第 1 号	土居町の移動販売車設置を求める陳情	継続審査
28 年 請願第 4 号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願	継続審査
29 年 請願第 1 号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	不採択
28 年 陳情第 1 号	家族従業者の人権保障のため「所得税法第 56 条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情	継続審査

新畳で部屋をリフレッシュ！
不衛生なタタミの隙間、
サービスで直します

新軍入荷しました
創業百十周年

白石畳店

四国中央市中曾根町 632 0896-23-4185

新築・リフォーム・不動産

日新ハウジング(株)

日新ハウジング 四国中央 検索 クリック

中曾根町1781-3 TEL 24-1010

水田法律事務所

愛媛弁護士会所属 弁護士水田大輔
まずはお気軽にお電話を

☎(0896) 22-4003

四国中央市川之江町 1856-35
三木ビル3階

相続・同族取引・離婚・交通事故
債務整理・その他民事一般

番 号	件 名	議決結果
	決算特別委員会の設置について（議長発議）	原案可決
	決算特別委員会委員の選任について	選 任

各議員の議案に対する賛否の状況

※ 賛否等の分かれた案件を記載しています。
※ ○：賛成 ×：反対

氏 名	飛鷹	吉原	石川剛	国政	眞鍋	三好	山川	三宅	谷内	川上	篠永	山本	苅田	吉田	井川	原田	青木	石津	谷	曾我部	石川秀	西岡
議案番号																						
議案第81号	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第82号	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
29年請願第1号	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	長	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×

意見書2件が可決されました

平成29年第3回定例会において意見書2件が上程され全会一致で可決されました。よって、政府等に対し意見書を提出しました。また、内容については以下のとおりです。

意見書第2号「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」における補助率等の嵩上げ措置の継続に関する意見書について〔抜粋〕

四国中央市は平野が少なく、山間部を抱える地域的な特性から、全国平均よりも道路整備が遅れているが、道路は地域経済の活性化や住民生活の安全・安心を確保するための最も基本的かつ重要な社会資本であることから、国からのさまざまな支援を受け、通学路の安全対策や道路構造物の長寿命化などの対策を実施してきたものの、今後においても多くの課題が残されているといえる。

現在は、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」により交付金事業の補助率等は嵩上げされているものの、嵩上げは平成29年度までの時限措置であり、平成30年度以降の補助率の低減は、道路整備の停滞を招くことが懸念されることから、現行制度を継続するとともに、必要な道路整備の推進が図られるよう、更なる拡充等の措置を講じられるよう強く要望する。

意見書第3号 北朝鮮のミサイル発射及び核実験実施に対する意見書〔抜粋〕

北朝鮮により行われた9月の弾道ミサイルの発射や核実験は、関連する国連安全保障理事会決議の明白な違反であり、核兵器不拡散条約を中心とする国際的な軍縮・不拡散体制への、明らかな挑発行為といえ、グアム島周辺に向けて弾道ミサイルが発射された場合は、本県の上空を通過させるという、看過しがたい暴挙として断じて許すことができないものである。

人類で最初の原子爆弾が投下された我が国の平和への願いを考えると、本市議会としては、このたび、核実験が行われたことに対して、強い憤りを覚えるところである。よって、国においては、北朝鮮に対し毅然とした姿勢で強く抗議するとともに、軍事衝突を避けるための対話のリーダーシップを取るなど国際社会との連携を強化し、北朝鮮の脅威から我が国を守るため、あらゆる措置を講じられるよう強く要望する。

決算特別委員会委員

◎委員長 ○副委員長

◎石川 剛 ○国政 守 眞鍋 幹雄 山川 和孝 三宅 繁博
谷内 開 青木 永六 谷 國光 石川 秀光 西岡 政則

JAうま
テイサービスセンター **あったか荘**

三島 中之庄町 1684-4 ☎24-8712
川之江 妻鳥町 1525 ☎58-2132
土居 土居町土居 885-1 ☎74-0150

営業時間 / 8:30 ~ 17:00
定休日 / 土日・お盆・年末年始
※三島のみ土曜営業あり

見学受付中!
お気軽にお声かけください

あっとホームなクリスマスパーティー
開催します! 日時 **12月24日**

会場 食の創造館 (西条市三津屋南2-54 11:00~14:30 JR玉生川駅前)

対象 20代後半から30代の独身男女
費用 男性:3,000円/女性:2,000円(材料費込)
フッキング有、ゲーム有、楽しい時間を過ごしましょう!(*_*)

ライフプレインの結婚相談所 **しあわせたまご**
☎0897-47-0688 西条市喜多川622-1 happyegg@ie-jinzai.jp

三島川之江インターから
三宮・大阪へ 1日9往復
名古屋・新宿 東京へ 1日1往復
TDL

好評運行中!
ジェイアール四国バス 検索 クリック
ジェイアール四国バス

本会議での発言を記録した9月定例会の「会議録」を、12月上旬に市役所本庁ロビー、各庁舎及び市内各図書館に備えます。

また、四国中央市議会ホームページにも全文掲載します。検索も可能ですのでごらんください。

議会を傍聴してみませんか？

本会議及び委員会は原則として公開していますので、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議及び委員会当日に、市役所5階で傍聴人受付簿に住所、氏名を御記入の上、傍聴してください。また、本会議の様子は市役所2階ロビーのテレビ、ケーブルテレビ、インターネットで生中継をしています。

四国中央市 議会中継

検索

※ 9月定例会の委員会の委員長報告をケーブルテレビで放送しています。
放送時間等は不定ですので御了承ください。

一般質問



紙面の都合上
一般質問の一部
を掲載してい
ます。

◆ゲリラ豪雨による土砂災害、河川の氾濫への備えについて

質問 土砂災害警戒区域の指定はどの程度進み、未指定地域の今後の見込みはどのようになっているのか。また、防災訓練をより効果的に、実際に意義あるものにするためにも、親子での参加が期待されると考えられるが、この点についてどのように考え取り組んでいくのか。



石川 剛 議員

答弁 建設部長、消防長、建設課長、安全・危機管理課長

土砂災害警戒区域の指定は、339カ所の危険箇所のうち149カ所が指定済みであり、未指定箇所については愛媛県において基礎調査が進められており、調査の完了した箇所から地元住民への説明会などを行い、指定への手続きを進めて行くことになる。

また、親子が参加する防災訓練の必要性については、家族一人ひとりの防災意識の向上と家族間のきずなを深めるといった観点からも非常に意義深いものであると認識しており、今後、さまざまな状況を想定した防災訓練を実施していきたいと考えている。

その他の質問 ○森林産業について ○トレイルランニングイベントについて

◆教員の長時間労働横行、多忙化の解消は、待ったなしの課題

質問 中学校教員の約6割、小学校教員の約3割が過労死ラインを超える月80時間以上の残業を行う長時間労働となっていることから、教員の勤務内容や学校長からの勤務記録の改ざん指導の有無など、長時間勤務の実態について伺う。また、教員の負担軽減は急務であり、子供たちの教育の充実のためにも教員をふやすべき。



飛鷹 裕輔 議員

答弁 教育長、教育委員会事務局指導部長、学校教育課長

教員の時間外勤務の内容については、授業の準備や成績処理、部活動の指導に費やす時間が多く、その他では、学級通信作成などの事務処理、関係機関やPTAとの会合が多くなっている。なお、教員の定数は法律で定められており、市で独自でふやすことはできないものの、行事や会議の見直しや部活動に休養日を設けるなど、教員の負担軽減に取り組んでおり、今後も学校現場の業務改善を進めていきたいと考えている。

その他の質問 ○特別養護老人ホーム設置など高齢者福祉は市の直営で実施を求める
○通級指導教室について ○臨時職員の処遇改善について

住み慣れた地域で、
にこやかに幸せに
生活していただけます。

SunFami
サン・ファミリア

サン・ファミリア四国中央/サン・ファミリア プライムタイムあしま

お問い合わせは ☎0120-652-350
http://www.sunfami.net サンファミリア

登場!
紛失保証付き補聴器

はじめての補聴器、失くしそうで心配
...そんなあなたにもご安心いただけます!
当店の補聴器安心コースは
紛失時の保証も充実しています。

アズマ補聴器は全店「認定補聴器専門店」です。
azumb アズマ補聴器センター
四国中央店 四国中央市中央通り5025 ☎0896-22-3341

健康で快適な住まい
超ゼロエネルギー住宅 EAZY

HAPPY, MYSELF, ETERNITY

KOYO

興陽商事株式会社 本社：四国中央市川之江町1655-3
中子店：伊予郡松前町南井720-5

☎0120-272-064

◆当市特別支援学校設立の緊急性について等、障がい児・者サービスの課題について

質問 四国中央市に特別支援学校をつくることへの緊急性について、生徒数の増加と現通学家族へのアンケート結果により強く求める。子ども若者発達支援センターのサービス拡大の妨げとなっている、従事者の待遇の見直しを望む。障がい傾向の子供の就学進路決定システムを問う。太陽の家の虐待防止の実情を問う。



吉原 敦 議員

答弁 市長、副市長、福祉部長、教育委員会事務局指導部長、発達支援課長、学校教育課長

新居浜特別支援学校の児童生徒数は263名だが、そのうちの116名、率にして44.1%が当市の出身者となっており、新居浜市出身者の105名よりも多く、在籍者数は増加傾向にある。在籍している児童生徒の御家庭には、通学方法や通学時間において身体的・経済的な負担をおかけしている点はもとより、就学期間において地元との関係性が薄れることや、卒業後の社会的な自立などの点においての不安から、特別支援学校分校の設置を強く望まれる重要性や緊急性を認識している。今後も設置に向けて粘り強く協議を続けて、共生社会の実現を目指して取り組んでいきたいと考えている。

◆小中学校、幼稚園、保育園、認定こども園の冷暖房設備について

質問 冷暖房設備の本市の設置状況、エアコンの国・県・県内外近隣他市の設置状況、本市の全教室に設置する場合、予算はどの程度になるか。エアコンの導入に本市はどのような考えか、また今後の計画はどうか。保育園に設置済みならば、幼稚園にも設置すべきではないか、考えを問う。



山川 和孝 議員

答弁 教育委員会事務局管理部長、教育総務課長

市内の小中学校のエアコン設置状況は、普通教室20.1%・特別支援教室71.7%・特別教室27.8%となっている。全国の状況は、普通教室49.6%・特別教室34.6%、本県は普通教室5.9%・特別教室18.9%。隣の新居浜市は普通教室1.5%・特別教室29.8%、隣県の観音寺市・三好市は普通教室100%・特別教室80%程度である。本市の全教室にエアコンを設置する場合、1教室200万円とすれば小中学校で9億円余り、公立幼稚園で3,000万円の予算が必要となるので、当面は特別支援教室を優先していきたい。また、幼稚園は、保育園とは園児を預かる時間が大きく異なることなどから設置が進んでいない。公立の認定こども園は全室設置する予定。認定こども園に移行しない幼稚園は、教育施設全体の中で検討された結果を踏まえて対応していきたいと考えている。

その他の質問 ○本市の国民保護対策について ○市民文化ホールの管理・運用について
○放課後児童クラブの現状、今後の方針について

◆小中学校等の施設整備についての所見を伺う

質問 市内小中学校施設整備の概要、必要性、優先順位について、喫緊の課題であることから当市の見解を伺う。また、教育環境や子供にとっての教育上の良好な環境づくりのため、施設整備とあわせて小中学校統廃合についての見解を伺う。



国政 守 議員

答弁 教育長、教育委員会事務局管理部長

今年度は市内の小中学校の耐震化工事が終了する予定である。今後の課題として消防設備や老朽化したトイレや電気設備の改修など、施設の延命のための改修を行っていく必要があり、平成32年度までに策定を求められている「学校施設長寿命化計画」の中で、改修内容の優先順位等を検討していきたい。また長期的には、児童数の推移や学級編成の動向なども注視し、本市としてこれからどのような教育を進めていくのか根本的な視点に立ち、それぞれの学校の状況や課題を十分に考慮しながら、小中学校の統廃合を検討しなければならないと認識している。

その他の質問 ○地域公共ネットワークについて ○市内施設整備について
○投票所のバリアフリーについて

◆人材育成について

質問 人口ビジョン総合戦略を策定し、地域の活性化、雇用の拡大、人口増加につなげるさまざまな事業を展開しているが、中でも土居高等学校の「紙のまちづくりに貢献する人材の育成事業」に対する支援から、今日に至る人材育成に向けた支援の現状を伺う。



眞鍋 幹雄 議員

答弁 副市長、教育長、経済部長

土居高校が、平成27年度に地方創生事業として産官学連携のもと取り組んだ「紙のまちづくりに貢献する人材の育成事業」が、平成28年度には、さらに内容を発展させ「紙のまち魅力化プロジェクト」と名称を改め各種事業が実施された。市としても、この取り組みを踏まえ、今年度から新たに地方創生推進交付金を活用した「地域産業人材定着事業」を展開し、市内の小学生から大学生に至るまでの幅広い世代に対し、一貫した地場産業のPRを行なうことにより、地元企業に興味をもち、理解を深め、ふるさと回帰の気運が醸成されるよう取り組んでいる。

その他の質問 ○子育てについて

◆国民健康保険の「都道府県化」による値上げはしないこと

質問

愛媛県国民健康保険運営方針連携会議の現在の到達点を、保険料・保険税方式、賦課方式を含め問う。厚生労働省の試算方針の変更点を明示し、県下の市町ごとの「実際の一人当たり・世帯当たりの保険料額の比較」を公表し、制度移行による値上げはせず、国保料の引き下げを求める。



答弁 市民部長、国保医療課長

保険料・保険税方式については、平成30年度からの県内統一は見送り、引き続き検討することになっており、賦課方式は、保険料を統一する際に検討すべき課題として整理されている。試算方針は、①公費のあり方の検討結果を踏まえ、初めて新制度を前提とした試算であること、②より現状に近い規模としていること、③激変緩和を予定する点で変更されていること、とされており平成30年度の国保料については、今回の試算結果や仮係数を使用した推計結果をもとに検討していき、被保険者に過度な負担が発生することのないよう、協議を進めていきたいと考えている。

三好 平 議員

その他の質問 ○固定資産税の課税方法について ○市民の声にどう応えるか

◆障がい者雇用の拡大について

質問

障がいのある方の就労意欲は高まっており、自立した生活を送ることができるよう望まれている。また、保護者のアンケートに寄せられた声にも、企業や福祉施設での就労を望まれている。法定雇用の達成割合及び、企業のさらなる障がい者雇用の拡大に向けての取り組みを伺う。



答弁 経済部長・福祉部長

本市において、法定雇用率以上の割合で障がい者を雇用する義務のある対象企業数は114社であり、うち達成企業数は53社で達成企業割合は46.5%となっており、数年前より増加傾向にある。現在ハローワークでは、障がい者を短期間雇用し、その方の適正などを見極めて継続雇用へつなげていくための奨励金制度を設けており、市としても、ハローワークや商工会議所等と連携し障がい者雇用の啓発や広報活動を行い、雇用の推進に寄与したいと考えている。

谷内 開 議員

その他の質問 ○道路整備について

◆市営住宅について

質問

空き家があるのに入居できない理由の一つである政策空き家とは何か、定義を伺う。市内2,493戸の住宅の管理体制は。耐震性が確保できていない老朽住宅の建てかえ計画は。今後、入居希望者には親身になって対応していただきたいと思うが、いかがか。



答弁 市長、副市長、建設部長、建築住宅課長

政策空き家について定義されたものではなく、根拠となる法律や条例も制定されていないことから、県と同様に事故物件等で募集を行っていない部屋、大規模な修繕が必要、もしくは用途廃止を行うために募集を行っていない部屋をいわゆる政策空き家としている。市営住宅の管理については、通常業務の範囲内では対応できているものの、各戸の実態の状況把握等の全般的な管理業務となると、担当の負荷が増加すると認識している。老朽住宅の建てかえについては、今期マスタープラン策定の後、長寿命化計画の見直しによって位置づけられるものと考えている。市営住宅は住宅困窮者に対するセーフティーネットであることから、ルールにのっとった上で、どこまで要望に応えられるかを検討する姿勢で相談対応に臨み、今まで以上に親切丁寧な対応を心がけてまいりたい。

井川 剛 議員

◆三島川之江インター周辺は、自然災害や街づくり上も中核病院建設適地ではない

質問

6月議会での篠原市長の、中核病院建設地は「三島川之江インター周辺が最適地」と取れる発言は問題である。高速道路は「中央構造線」の直下にあり大地震で崩壊の危険があり、また総合病院が市東部に偏り過ぎであり、「協定書」どおり三島地区への建設を求める。



答弁 市民部長

三島医療センターは、東日本大震災を経て液状化等の問題が出てきており、また四国中央病院の経営悪化に伴い、経営改善を最優先するとされたことから、中核病院の建設場所については全く白紙の状態となり、その後市と公立学校共済組合本部との間で議論・検討は行っていない。今後経営改善が進み、建設候補地選定の際には、基本協定書の内容に配慮しながら、市民の利便性や居住の状況、病院の経営環境や経済性、当該圏域の災害拠点病院としての立地条件の適否等、さまざまな角度から検討がなされるものと考えている。

青木 永六 議員

その他の質問 ○人権・同和問題の今日的課題 ○選挙公報の実施を求める

総務市民委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中。

◎井川 剛 ○石川 剛 三好 平 三宅 繁博 ◎委員長
山本 照男 苅田 清秀 石津千代子 谷 國光 ○副委員長

●議案第 72 号「四国中央市保健センター条例の一部を改正する条例について」

質問 川之江保健センターは、取り壊すということになるのか。

答弁 川之江保健センターは、9月30日をもって用途廃止となるが、10月1日からは、来年度から入居予定である商工会議所が、施設の改修をしていく。

質問 乳幼児健診のときにしていたブックスタート事業などは、どうなるのか。

答弁 現在まで同様実施するが、川之江保健センターで実施していたブックスタートは、10月から平成30年3月までは、四国中央市保健センターで実施する。

●議案第 73 号「平成 29 年度四国中央市一般会計補正予算（第2号）」所管分

質問 マイナンバーカードの現在の発行状況を伺う。

答弁 マイナンバーの交付率は、4,965件で5.55%である。



マイナンバーカード

質問 新ふるさとづくり総合支援事業補助金とはどのようなものか。

答弁 自治体や民間団体が実施する地域づくり事業等に要する経費に対して助成されるものであり、ソフト事業が主である。

今回補正する企画費県補助金は、新居浜市・西条市・当市で構成するものづくり3市連携推進協議会が実施する移住フェアへの出展や、情報誌・ポスター作成などの情報発信事業に係る当市負担額に対して、2分の1の補助を受けるものである。



移住フェアの様相

質問 地域コミュニティ活性化事業は、以前の川滝・豊岡・蕪崎の3地区を終わらせて、新たに三島地区・中曽根地区を実施するものか。

答弁 平成26年度から実施していた3モデル事業については、平成28年度末で終了した。新たに平成29年度からの事業として募集をかけたが、17地区のうち三島地区と中曽根地区のみの応募であり、モデル事業から本格移行した川滝・豊岡・蕪崎の3地区と合わせて5地区で実施する。



豊岡地区コミュニティの様子

●議案第 74 号「平成 29 年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）」

質問 退職者医療交付金返還金の内容を伺う。

答弁 歳入に療養給付費等交付金というのがあり、退職被保険者等の医療費については、この交付金によって賄われるものである。平成28年度の退職者医療費等が確定したことに伴い、清算したところ、約1,140万円が超過交付となっており、社会保険診療報酬支払基金に返還するものである。

なお、退職被保険者は、平成28年度平均で849人である。

教育厚生委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中。

◎西岡 政則 ○吉原 敦 飛鷹 裕輔 眞鍋 幹雄 ◎委員長
谷内 開 川上 賢孝 吉田善三郎 ○副委員長

●議案第 70 号「四国中央市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」

質問 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る支給認定証の詳細を伺う。

答弁 支給認定証については、児童の氏名及び生年月日、保護者の氏名及び生年月日、居住地、支給認定区分、保育必要量、保育を必要とする事由、有効期限を記載した書類である。

質問 旧の支給認定証はどのようにするのか伺う。

答弁 旧の支給認定証について、発行しているものは順次回収する予定である。

●議案第 73 号「平成 29 年度四国中央市一般会計補正予算（第 2 号）」所管分

質問 学校管理費における工損調査委託料について、新宮小中学校は建設時に調査を行っているが、今回の調査でさらに工損箇所の調査を行うのか伺う。

答弁 新宮小中学校新築工事に係る事前調査、事後調査はともに終了している。工損調査委託料 141 万 9,000 円については、事後調査の結果に基づき実質 3 者程度に対する補償費を算出するための委託料である。



新宮小中学校

質問 学校給食費における消耗品費について、食器の場合、人体に影響を及ぼす食器が少しでもあれば危険があると思われるが、どのような食器を使用するのか伺う。

答弁 消耗品費 250 万円に係る経費については、三島学校給食センターで現在使用している深皿の食器が異物混入を招くおそれがあるほど、老朽化しているため、新しい食器に交換する費用である。

現在の食器は、プラスチックの一種であるポリプロピレン素材であるが、新しい食器は、ペン樹脂と呼ばれる、より安全とされてる材料で作られ、東部学校給食センターでも使用できる物を買いたい。



現在の食器

新しい食器

質問 市財産整備事業について詳細を伺う。

答弁 工事費については、基幹相談支援センターを商工会館の1階に開設しているが、福祉会館1階の社会福祉協議会の入浴サービス室の隣に、ほぼ現状のまま、床・照明・エアコン等の改装を行い移転する。見積額は83万1,600円となっている。

また、地域活動支援センターココロンを宇摩自治会館に設置しているが、パレットの新設に伴い、親子ホームの後に移転することになっていることから構造上は変わらないが、必要な設備等の改修の工事費129万6,000円を予定している。

質問 金生公民館新築事業について、進捗状況も含めて詳細を伺う。

答弁 金生公民館新築事業1,413万8,000円のうち1,298万2,000円については川之江庁舎解体に伴う工損調査である。残りの115万6,000円は、川之江庁舎にある電話交換機を川之江文化センターへ移設する工事費である。

スケジュールについては、来年度に解体工事と埋蔵文化財の調査を行い、平成31年度に建設予定である。

産業建設委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中。

◎山川 和孝 ○篠永 誠司 国政 守 原田 泰樹 ◎委員長
青木 永六 曾我部 清 石川 秀光 ○副委員長

●議案第 69 号「四国中央市住宅マスタープラン委員会条例の制定について」

質問 四国中央市住宅マスタープランは、コンサルタント会社に対して基本的な計画や政策など当市の考え方を示しているのか。

答弁 コンサルタント会社に対しては、仕様書等で契約に基づき現在作業中である。住宅マスタープランというのは住生活基本法に基づいて国が制定している。国が一昨年策定し、昨年愛媛県が住生活基本計画を策定した。いずれも福祉政策分野について、国の政策、県の住宅政策がさらに強化された内容となっているので、そういった部分を当市のマスタープランに反映するような形で作成を依頼している。

なお、当市の特性もあることからデータ等の分析によって当市の特性に合ったものが出てくるものと考えている。



公営住宅

●議案第 71 号「四国中央市旅客自動車条例の一部を改正する条例について」

質問 せとうちバスが廃止となり福祉バスを増便することによりカバーできるのか。

答弁 せとうちバスが廃止となるが、上山下部線を増便することでカバーできると思う。

質問 新宮地区から徳島県三好市へ乗り入れしている天日・茂地線と鳩岡・茂地線の2路線は、天日までは同じ路線であり鳩岡・茂地線は鳩岡集会所まで行くようになっているが別便なのか。

答弁 天日・茂地線と鳩岡・茂地線の路線は別便である。

●議案第 73 号「平成 29 年度四国中央市一般会計補正予算（第 2 号）」所管分

質問 東予東部圏域振興イベント実行委員会負担金の内容について伺う。

答弁 東予東部圏域振興イベント実行委員会負担金だが、イベントは西条市、新居浜市、四国中央市と県及び東予東部圏域の関係団体等が連携し、平成 31 年度に実施予定である。

現在、準備委員会を立ち上げ基本計画の策定を進めている。今後、11 月中旬をめどに実行委員会設立を予定している。

実行委員会の開催経費やイベントの実施計画策定業務、アドバイザーの設置、シンポジウム開催等の経費として総額 997 万円程度であり、内訳は県が 2 分の 1、市が 2 分の 1 となっており市の 2 分の 1 については 3 市で平等割となる。

質問 担い手農地利用集積支援事業補助金の内容について伺う。また、認定農業者経営改善支援事業の認定事業者と経営改善の支援内容について伺う。

答弁 担い手農地利用集積支援事業補助金だが各集落単位で作成される「人・農地プラン」で位置づけられた個人、法人、集落組織等、「経営体」と呼んでいるが、その経営体が農地を借り受けて集積するのに必要となる農業機械や農業施設などの導入を支援するものである。対象の面積は水田・畑作については 5 ヘクタール、果樹作は 3 ヘクタール以上であり、平成 27 年度からの事業であったが要望がなく今回初めて実施する予定である。補助率については、事業費の 3 分の 2 以内となっており内訳は県 3 分の 1、市 3 分の 1 である。次に認定農業者経営改善支援事業については、県の補助であり市主体で平成 26 年から実施している。認定農業者は、さまざまな経営計画を出し認定を受けた農業者に対して農業用機械や農業用施設の購入・整備に対して 3 分の 1 以内の補助となる。今回は 5 件の経営体から要望があったが 2 件採択をした。認定農業者の数は、8 月 31 日現在で経営体数が 121 件、うち農業法人等で 19 件となっている。



農業用機械（イメージ）

四国中央市議会

知ってフォーラム

平成16年4月の合併時、69名の議員でスタートした四国中央市議会は、自主解散を経て改選ごとに定数を削減し、昨年11月の選挙では定数を4名削減し22名としました。

一方、議会中継や一問一答方式の導入など議会改革に取り組んできたところですが、前回の市議会議員選挙の投票率は55%と低く、民意をくみ取るべき議会の役割を考えたとき、まだまだ何が必要かと自問してきたところです。

そこで、今回、議会のあり方、目指すべき方向を改めて考えるなかで、市民の皆さんの生の声をお聞きし、一緒に考えていきたいと議会報告会を兼ね本フォーラムを企画しました。ぜひとも、ご意見をお聞かせください。

市民の皆さんの声を

お聞かせください

そして一緒に考えませんか

平成29年

11月23日(木)

勤労感謝の日

午後1時～3時

場 所

四国中央市消防防災センター
3階 大ホール

内 容

①基調講演

地方自治の「本姿」を目指して
一市民と議会に求められるもの一

松山大学法学部教授
妹尾克敏 先生



②議会報告

(議会改革の歩みとこれからの課題・取組)
議員による報告

③市民と議員の意見交換

市議会・議員等に関する意見交換

お車の方は、消防防災センター東側駐車場又は市役所駐車場をご利用ください。

主催：四国中央市議会 ☎(0896) 28-6048

《議会だより編集委員会》

編集委員 ◎印は委員長 ○印は副委員長

◎吉田善三郎 ○石川 剛 吉原 敦 国政 守 三好 平 苅田 清秀 原田 泰樹

【お問い合わせ先】

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号(四国中央市議会内) TEL 0896-28-6048

